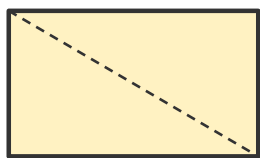


こたえ 四角形と対角線

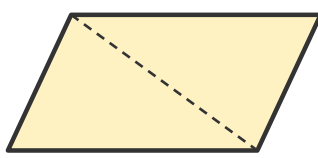
基礎 ③

- 1 つぎの四角形に1本の対角線をひいて、2つの三角形に分けました。2つの三角形が合同になるものに○、ならないものに×を書きましょう。



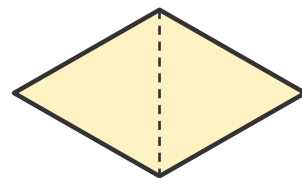
長方形

○



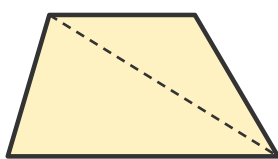
平行四辺形

○



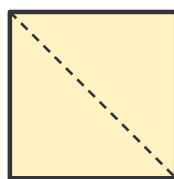
ひし形

○



台形

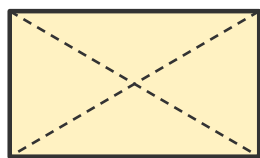
×



正方形

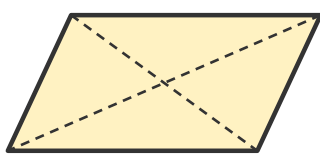
○

- 2 つぎの四角形に2本の対角線をひいて、4つの三角形に分けました。4つの三角形が全部合同になるものに○、ならないものに×を書きましょう。



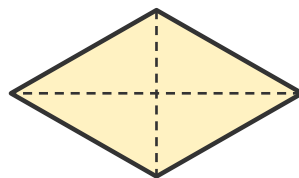
長方形

×



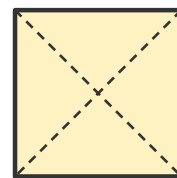
平行四辺形

×



ひし形

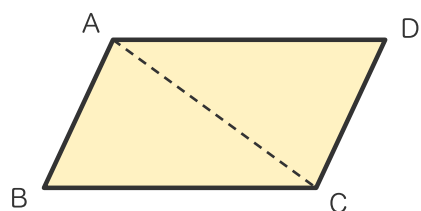
○



正方形

○

- 3 平行四辺形ABCDに対角線ACをひきました。□にあてはまる記号を書きましょう。



三角形ABCと合同な三角形は、三角形

CDA

辺ABに対応する辺は、辺

CD

角Bに対応する角は、角

D

おうちの方へ

- 長方形・平行四辺形・ひし形・正方形は、1本の対角線で合同な2つの三角形に分けられます。台形は（ふつう）合同になりません。
- 2本の対角線で分けると、長方形や平行四辺形は「向かい合う三角形どうし」が合同になります。4つとも合同になるのは、ひし形と正方形です。